

一般会計予算総括質疑通告書

令和 5年 2月14日

議 会 議 長 様

会 派 名 政

議員氏名 野 口 俊 彦

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 歳入の確保は	歳入の確保について、以下、伺います。 (1) 長引く新型コロナウイルス感染症等の影響や、地域経済の低迷、生産年齢人口の減少などにより、毎年税収の減少を懸念しているが、結果的には年々町税収入が伸びているのが現状である。令和5年度予算で町税は、前年度比4.1%の伸びとなり、町税の3本柱である、個人町民税、法人町民税、固定資産税が増額となっている。特に、法人町民税において、前年度比29.1%と大幅な伸びとしているが、税収増となったそれぞれの要因は。 また、コロナ禍における影響をどのように分析しているのか。 (2) 町たばこ税が前年度比8.4%と大幅な伸びとなっているが、税収増となった要因は。 (3) 地方交付税が10.8%の伸びとなっている。令和5年度地方財政計画の増減率1.7%を大きく上回る事となった理由は。また、臨時財政対策債との関係は。 (4) 分担金及び負担金が前年度比12.1%、また県支出金が前年度比14.3%と伸びているが、要因と主な事業内容は。 (5) ふるさと応援寄付金が前年度同様の予算計上額となっている。収入増へ繋げる創意工夫を凝らした対策への検討は図られたのか。	町長 副町長 担当課長

2月14日 午前・午後 4時45分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 施政方針の内容は	(6) 当初予算編成にあたっての財源不足への対応策として、地方債の活用、また財政調整基金からの補填がある。事業執行に充てる財源として、この2つの活用にあたりバランスは、どのように工夫（調整）したのか。 (1) 町長は、人口減少対策を町の最重要課題とし、公約に掲げた4つの優先政策と9つの課題への挑戦として、できることから着手し「新しい杉戸」へ向けてチャレンジしていくとしているが、取組状況をどのように分析し、新年度予算に反映させたのか。 また、事業実施に伴う財源確保に対する課題は。 (2) 第6次杉戸町総合振興計画第3次実施計画が令和5年度から3か年計画で実施されるが、これまでの事業執行は実施計画通り進められてきたのか。決算分析で新年度の実施計画へ繰越となった事業予算はどの程度あるのか。 また、財政の健全性に配慮した取組をしたとしているが、その内容は。（どのように配慮したのか） (3) 行政需要が年々増加傾向にある中、あれもこれもこの時代から、選択と集中の時代へと変化しており、優先順位をつけての予算化が必須である。重要施策に対する優先順位決定のプロセスは。 また、継続事業は小さなことでも住民目線による改善を行うとしているが、どのような策を講じてきたのか。 (4) 東武動物公園駅東口通り線整備推進事業や旧杉小跡地活用事業などの再開発が進んでいる。そこで、市街地の賑わいの創出など、町の魅力向上につながる事業については、様々な施策を講じていくとしているが、今までの取組をどのように分析し、検討したのか。 また、問題や課題となった点は何か。 (5) 厳しい財政状況下において、総合振興計画及び町長マニフェストに掲げた各施策の達成に向け、住民ニーズをふまえて、創意工夫をした点は何か。	町長 副町長 担当課長